

京都府内総合計画策定状況

自治体名	計画名	目指す都市像	まちづくりの基本理念、方針等	計画の構成			人口の考え方			
				基本構想	基本計画	実施計画(実行計画)の有無	策定時住基人口	総合計画上の人口		
								表現方法	人口	策定時人口との比較
福知山市	未来創造・福知山	多様性あふれる高次機能都市	●人間が豊かで誰もが生きがいを感じるまち ●豊かな環境や文化を活かすすべての地域が輝くまち ●多様性あふれ新たな価値を創造するまち ●安心・安全に暮らせるまち	25年間	基本計画:5か年ごと	—	79,534人 (H28.3月末)	人口の目標	78,300人 (平成52年度)	↓
舞鶴市	第7次舞鶴市総合計画	ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市MAIZURU	●市民と共に進めるまちづくり ●持続可能なまちづくり ●市民の期待に応える市役所運営	8年間	前期実行計画:4年間 後期実行計画:4年間	—	81,877人 (H31.4/1)	構想・推計と予測 前期実行計画・経済人口	構想:73,818人(2025年) 実行計画:10万人	↓
綾部市	第5次綾部市総合計画	住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部	●存在感のあるまちづくり ●自主・自立のまちづくり ●計画的・効果的な行政運営	10年間	前期基本計画:5年間 後期基本計画:5年間	—	36,674人 (H23.3月末)	基本的な枠組み 1.人口 推計値を上回る人口 の確保を目指します。	平成32年度:33,000人	↓
宇治市	宇治市第5次総合計画	みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市	●お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治	11年間	第1期中期計画:3年間 第2期中期計画:4年間 第3期中期計画:4年間	—	193,264人 (H23.4/1)	将来人口	平成33年度:185,000人	↓
宮津市	みやづビジョン2011	住んでよし訪れてよしの宮津	●暮らしの良さが実感できるまち ●豊かな心が生まれ、文化が息づくまち ●経済が発展する活力のあるまち ●訪れたい、過ごしてみたくなるまち	10年間	—	—	19,671人 (H23.10/1)	—	—	—
亀岡市	第4次亀岡市総合計画	水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かめおか ～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～		10年間	前期基本計画:5年間 後期基本計画:5年間	—	93,393人 (H23.4/1)	人口の目標	平成32年度:100,000人	↑
城陽市	第4次城陽市総合計画	歴史と未来をつなぎ、ひとをはぐむ緑のまち・城陽	●“未来輝く”にぎわいと交流が生まれるまち ●“生命輝く”安心とふれあいがひろがるまち ●“笑顔輝く”愛着と創造力を育むまち ●“生活輝く”自然と調和した快適なまち ●まちの魅力発信・対話と協働でつくるまち ●健全経営で市民から信頼されるまち	10年間	前期基本計画:5年間 後期基本計画:5年間	—	77,452人 (H29.4/1)	目標人口	75,000人 (平成38年度)	↓
向日市	第5次向日市総合計画	活力とやすらぎのあるまち みんなでつくる7.67向日(むこう)	●市民協働 ●自立した都市経営	10年間	前期基本計画:5年間 後期基本計画:5年間	—	55,064人 (H22.4/1)	将来の人口	約55,800人と想定します (平成32年度)	↑
長岡京市	長岡京市第4次総合計画	住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京	●うるおい・環境 ●にぎわい・交流 ●あんしん・安全	15年間	第1期基本計画:5年間 第2期基本計画:5年間 第3期基本計画:5年間	実施計画:3か年の計画を 策定し、2年経過後、次期 策定	80,491人 (H28.4/1)	人口フレーム (目指します)	80,000人 (平成42年度)	→
八幡市	第5次八幡市総合計画	みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせる まち ～住んでよし、訪れてよし Smart Wellness City, Smart Welcoming City Yawata～	●「みんなで創る」まちづくり ●「シビックプライド(愛着と誇り)」によるまちづくり ●将来世代に豊かな生活を引き継ぐ「サステイナブル(持続可能)」なまちづくり	10年間	前期基本計画:5年間 後期基本計画:5年間	実施計画:3か年の計画を ローリング方式により毎年 年度策定	71,611人 (H30.3月末)	人口ビジョンでは約6 万5千人以上と設定 しています。	—	↓
京田辺市	第3次京田辺市総合計画 まちづくりプラン	緑豊かで健康な文化田園都市	●だれもが安全・安心に暮らせるまちづくり ●快適で活力にみちたまちづくり ●心にうるおいのあふれるまちづくり	15年間	前期基本計画:10年間 後期基本計画:5年間	実施計画:3か年の計画を ローリング方式により毎年 年度策定→廃止	60,765人 (H18.4/1)	将来人口 (人口フレーム)	平成32年度:80,000人	↑
京丹後市	第2次京丹後市総合計画	ひと みず みどり 市民総参加で飛躍するまち 北近畿新時代へのちから輝く 京丹後	●歴史・文化、地場産業等の地域資源を活かしたまち ●美しいふるさとの自然環境を守り次代に継承するまち ●健やかで生きがいのある暮らしを実現するまち ●安全で安心して暮らせるまち ●お互いに支え合い、助け合うまち ●次代を担う子どもたちが「学び」を通じて夢をいただき、いきいきと成長するまち ●誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまち	10年間	基本計画:10年間 ※市長任期に合わせ、4年ごとに見直し	実施計画:3か年の計画を ローリング方式により毎年 年度策定	58,104人 (H27.3月末)	人口フレーム	平成36年度 活力人口:56,000～66,000人 定住人口:50,000～60,000人 交流人口:6,000人(年間220万人)	?
南丹市	第2次南丹市総合振興計画	森・里・街・ひとがきらめく ふるさと 南丹市	—	10年間 (見直し可)	—	実施計画:3か年の計画を ローリング方式により毎年 年度策定	32,064人 (H30.4/1)	人口フレーム (定住人口の目標)	定住人口目標:30,000人 交流人口目標:280万人 (平成39年度)	↓
木津川市	第2次木津川市総合計画	子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川	●自助・共助・公助で支え合うまちづくり ●情報共有、参加・参画、協働のまちづくり	10年間	前期基本計画:5年間 後期基本計画:5年間	実施計画:3か年の計画を ローリング方式により毎年 年度策定	77,532人 (H31.3月末)	将来目標人口	平成40年度:80,000人	↑

凡例	
直近5年以内に策定	